

- 問1 日本において、国会議員や地方公共団体の首長、議会議員の選挙を行う際、その種類や選挙区の割り振り、具体的な投票の方法、さらには選挙権や被選挙権を得るための条件などを一括して定めている法律を選択肢から選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 地方自治法 2. 教育基本法 3. 公職選挙法 4. 政治資金規正法
- 問2 原敬が組織した内閣が「日本初の本格的な政党内閣」と呼ばれる理由として、ふさわしい説明を選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 衆議院の第一党の党首が首相となり、閣僚の大部分をその党員で構成したから。 2. 日本で初めて政党という組織が作られ、その代表者が総理大臣に就任したから。 3. すべての国民が選挙権を持つ普通選挙法を成立させ、その直後に組織されたから。 4. 軍部の勢力を完全に排除し、文民のみで内閣を構成することに成功したから。
- 問3 2017年の衆議院議員総選挙において、20代の投票率は約30%と全年代の中で最も低い数値でした。また、日本の年代別人口の構成を見ると、若年層は中高年層に比べて著しく少ない状況にあります。このような「投票率」と「年代別人口」の差が、民主主義における政策決定にどのような影響を及ぼすと考えられますか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 有権者数や投票数が多い高齢者の意見が重視されやすくなり、若年層の意見が政治的反映を受けにくくなる。 2. 若年層の投票率が低いため、各政党は若者の関心を引こうと、若者向けの支援政策を最優先で公約に掲げようになる。 3. 男女別の投票率に大きな差がないため、年代を問わずすべての世代の意見が均等に予算配分へ反映される。 4. 若年層の人口が少ないため、一人ひとりが持つ一票の価値が法的に高く補正され、若者の意見が通りやすくなる。
- 問4 一票の格差を是正するために、日本の衆議院議員選挙（小選挙区）で採用されている、都道府県への議員定数の割り振り方法を見直す仕組みを何とといいますか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 拘束名簿式 2. ドント方式 3. アダムズ方式 4. 重複立候補制
- 問5 選挙区における議員1人あたりの有権者数の違いが、「一票の格差」として問題視される理由と、それに関わって最高裁判所が重視している憲法上の原則について説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 人口の少ない地方の意見が国政に届かなくなり、地域間の経済格差がさらに広がる恐れがあるため、「生存権」の侵害にあたる。 2. 選挙区の区割りを政府が自由に変更することで特定の政党が有利になる可能性があるため、「三権分立」の原則に反する。 3. 有権者数が多い選挙区ほど1票が全体に占める割合が小さくなり、個人の意思が政治に反映されにくくなるため、「法の下での平等」に反する可能性がある。 4. 落選した候補者に投じられた票が「死票」となり、その地域の有権者の意見が全く無視されることになるため、「基本的人権の尊重」に反する。
- 問6 ある地域での選挙の結果、3つの小選挙区では「第1区：C党候補、第2区：A党候補、第3区：A党候補」がそれぞれ当選した。さらに、定数4の比例代表においてドント方式で計算したところ、「A党：2議席、B党：1議席、C党：1議席」の議席配分となった。このとき、A・B・Cの各政党が獲得した「小選挙区と比例代表を合わせた合計議席数」として正しいものを選びなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. A党：3議席、B党：1議席、C党：3議席 2. A党：4議席、B党：1議席、C党：2議席 3. A党：2議席、B党：1議席、C党：1議席 4. A党：5議席、B党：1議席、C党：1議席
- 問7 現代の民主主義において、国民は国会議員を選出する選挙を通じて政治に参加します。性別や身分、あるいは納めている税金の額といった条件で制限を設けることなく、一定の年齢に達したすべての国民に選挙権を認める原則を何とといいますか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
1. 秘密選挙 2. 平等選挙 3. 普通選挙 4. 直接選挙
- 問8 ある選挙において、得票数に応じて議席を配分する計算モデル（ドント式など）を用いて議席を決定する比例代表制について、この制度が小規模な政党にとっても有利に働く理由として、適切な説明を選んでください。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 政党の得票率に基づいて議席が割り振られるため、全国的に一定の支持があれば議席を得る機会があるから。 2. 一票の格差を是正するために、人口の少ない地域の議席数をあらかじめ多く割り当てているから。 3. 有権者が候補者の氏名を書いて投票するため、知名度の高い新人が政党の枠を超えて当選しやすいから。 4. 小選挙区ごとに最も多くの票を集めた候補者が当選する仕組みであり、特定の地域で強い支持があれば良いから。
- 問9 ある選挙区で、比例代表制による議席の配分を行います。定数が4名で、各政党の得票数が、政党A：18,000票、政党B：10,500票、政党C：9,600票であった場合、ドント式を用いて計算すると各政党への議席配分はどうなりますか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 政党A：3議席、政党B：1議席、政党C：0議席 2. 政党A：1議席、政党B：1議席、政党C：2議席 3. 政党A：2議席、政党B：1議席、政党C：1議席 4. 政党A：2議席、政党B：2議席、政党C：0議席
- 問10 日本の衆議院議員選挙や参議院議員選挙の比例代表制で採用されている「ドント式」による議席配分の方法として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
1. 各選挙区で最も得票数の多かった候補者一人だけを当選とし、それ以外の候補者への投票を死票とする。 2. 全国を一つの選挙区とし、得票数の多い順に個人名で投票された候補者を直接当選させる。 3. 各政党の得票率に定数を掛け、小数点以下を切り捨てた残りの議席を、端数の大きい政党から順に割り当てる。 4. 各政党の得票数を1、2、3…といった整数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。
- 問11 選挙のルールを決めている「公職選挙法」という法律が変えられた主な理由はどれでしょう。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 選挙をする回数を減らすため 2. 選挙の手続きを難しくするため 3. 選挙でお金を使わないようにするため 4. 若い世代の意見を政治にとどけるため
- 問12 少子高齢化が進む日本において、若年層の投票率の低さが政治に与える影響と、その背景にある課題についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 投票率の差は、単なる個人の意識の問題であり、将来の社会保障制度や予算配分に影響を与えることはない。 2. 若年層の人口が多いため、投票率が低くても若者の意見は十分に政治に反映されている。 3. 若年層の投票率が低いため、育児支援や教育予算よりも、社会保障などの高齢層向け政策が優先されやすくなる。 4. 高齢層の投票率が高いのは、若年層に比べて人口が圧倒的に少ないことを補うためである。